

研究発表会 公開授業 学習指導案集

学年・組	教科名	単元・題材名等	指導者	場所
1年1組	数学	「比例」	大塚 尚吾	1階 1年1組
1年2組	英語	「 Lesson 6 Assistance Dogs 」	佐藤 紀代美	1階 1年2組
1年3組	家庭	「これからの衣生活」	細野 由紀	1階 1年3組
1年4組	国語	「矛盾 —故事成語—」	富田 洋子	1階 1年4組
2年1組	社会	「人口の特色 —人口ピラミッド—」	島崎 靖雄	3階 2年1組
2年2組	国語	「情報を的確に伝えよう —新聞記事を使って—」	村尾 明美	3階 2年2組
2年3組	英語	「 Do It Talk 5 病気などについて聞くととき・答えるとき 」	青山 知世子	3階 2年3組
2年4組	数学	「合同な図形」	柴田 翔	3階 2年4組
3年1組	理科	「金星の見え方」	岩間 敦	2階 理科室A
3年2組	数学	「相似な図形」	高取 昌美	2階 3年2組
3年3組	美術	「透視図法を使った平面構成」	田中 進	3階 美術室A
3年4組	国語	「おくのほそ道」	橋本 玲	3階 3年4組
3年5組	保健体育	「球技」(バレーボール)	野崎 朋之	体育館

第1学年数学科公開授業指導案

対象 1年1組 36名
 授業者 大塚 尚吾
 場所 1階 1年1組教室

1 単元名 「比例する量」

2 本時のねらい

- (1) 「関数」の意味を確認し、「比例」の意味を理解する。
- (2) 2つの数量の間に「関数」や「比例」の関係があるかを判断し、自分なりに言葉や表を通して友だちに説明する。

3 本時の重点 2人ペアや班で話し合い、説明をし合うことで理解を深める。

4 本時の展開 (略案)

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導入	<p>本時のねらい</p> <p>(1) 関数を確認し、比例の意味を理解する。</p> <p>(2) 自分なりに言葉や表を通して友だちに説明する。</p> <p>・yがxの関数になっているか、プリントの具体例で考える。</p> <p>① 理由とともにプリントに書き込む。</p> <p>② 発表をし、理由を自分の言葉で伝える。</p> <p>③ ペアでプリント3の2を説明し合う。</p>	<p>*【チャイム授業、はじめの挨拶の徹底、休み時間との切り替えの意識、態度】</p> <p>*【本時のねらいの明示】</p> <p>* ③は一人30秒とする。</p> <p>答だけでなく、理由も具体的に説明させる。</p> <p>【生徒相互の関わり】</p>	<p>*チャイム着席、元気な挨拶、授業に臨む態度ができていますか</p> <p>*「関数」の関係を理解するだけでなく、相手に自分なりの言葉で説明できたか。</p> <p>見方・考え方</p> <p>(ワークシート・観察)</p>
	<p>1. 比例について学び合う。</p> <p>*プリント3の3で、正方形の1辺と周の長さとの関係を表を通して考察する。</p> <p>2. 比例しているか、比例していないかを表を通して考え、友だちに説明する。</p> <p>*プリント4の1の5つの具体例それぞれについて表を完成し、比例しているかどうか判断する。</p> <p>3. 身近にある比例の関係の2つの数量を考え、比例に対する理解を深める。</p> <p>*プリント4の2</p> <p>4. プリント4の3を発表する。</p>	<p>*小学校での既習事項であるが、急がず徹底する。</p> <p>* 表を作る上で、計算(代入)の仕方を確認させる。</p> <p>*【生徒相互の関わり】</p> <p>* 速さや円周率πの確認</p> <p>*時間がない場合は3は省略する。</p> <p>*4については、自由に発表できる雰囲気作りを心がける。次回の学習内容$y = ax$の橋渡しとしたい。</p>	<p>*2つの数量が比例している時の特徴を言葉で表現できたか。</p> <p>見方・考え方</p> <p>*表作りで、計算(代入)の仕方が正確にできるか。</p> <p>表現・処理</p> <p>*比例していない場合の理由も自分の言葉で表現できたか。</p> <p>(ワークシート・観察)</p>
まとめ	<p>1. プリント4の1の①から⑤は全て「yはxの関数」でした。どうしてそう言えるのか?</p> <p>2. 特に①③⑤は比例しています。どうしてそう言えるのか。</p> <p>本時をふり返る</p> <p>本時のねらい(1)(2)が達成できたか。</p>	<p>*ペアで説明あひ合う。</p> <p>【生徒相互の関わり】</p> <p>*正確な定義よりも、生徒の理解に基づいた言葉を大事にする。</p> <p>*本時のねらいを基にふり返る。</p>	<p>*自分なりに言葉や表を通して友達に説明できたか。</p> <p>知識・理解</p> <p>(ワークシート・観察)</p>

5 本時の評価

「関数」と「比例」の意味を理解し、具体例を基に、言葉や表を通して説明できたか。

第1学年英語科公開授業指導案

対象 1年2組 35名
 授業者 佐藤 紀代美
 荒井 裕亮
 場所 1階 1年2組教室

- 1 単元名 「Lesson6 Assistance Dogs(3)」
- 2 本時のねらい
 「彼(彼女)は～しません」という表現を含んでいる英文をペアの音読練習や発表することで正しく音読し、正確に理解する。
- 3 本時の重点
 ペアの音読練習や、発表など「生徒相互の関わり」を中心に授業を進める。
- 4 本時の展開 (略案)

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導入	出席確認。忘れ物確認 warm up: bingo 「彼(彼女)は～しません」という英文の復習。 本時のねらい 本文を正確に音読しよう。 本文の内容を理解しよう。	教師の後に続いて正確に発音させる。 本時のねらいを明示する。	意欲的に取り組んでいるか。 関・意・態 (観察)
展開	本時学習する英文をCDで聴く。 新出単語の意味を確認する。 教師の後に続いて音読。 ペアで練習する。 「彼は～しません」という表現を学び合う。 5ペア程度発表する。 人の発表を聞いて発音や意味を考える。 英文を和訳する。 本時で理解した内容に関する「Q and A」に答える。	一つ一つの単語の発音や意味をおさえた上で、まとまった文として音読したり理解したりさせる。ペアの生徒と協力させる。 和訳の時は静かにさせ、落ち着いた状況で取り組ませる。 英文を書くときのきまりや、本文の内容に留意させる。	正しく発音できているか。 表現 (観察) 積極的に取り組んでいるか。 関・意・態 (観察) 重要なポイントをおさえつつ、正確に理解しているか。 理解 (観察) 本文の内容に沿った答えを正確に書くことができる。 知識理解 (観察)
まとめ	本時を振り返る 正しい発音で音読できたか。 本文の内容を理解できたか。	本時のねらいを基に、1時間の活動を振り返らせる。	

5 本時の評価

- (1) ペア練習は積極的に取り組むことができたか。
- (2) 練習・発表の際正確な発音で音読することができたか。
- (3) 本文の内容を正確に理解することができたか。
- (4) 「英文を書くときのきまり」を意識して英文を書くことができたか。

第1学年家庭科公開授業指導案

対象 1年3組35名

授業者 細野由紀

場所 1階1-3教室

1 単元名 「これからの衣生活」

2 本時のねらい

環境に配慮し、資源を大切にしたい衣生活を送るために自分ができることを考え、発表する。

3 本時の重点

2人（隣どうし）での話し合い、4人での話し合いを通した生徒が主体の学び合う授業を行う。

4 本時の展開（略案）

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導入	<p>本時のねらい</p> <p>環境に配慮し、資源を大切にしたい衣生活を送るために自分ができることを考え、発表することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 衣生活での環境への影響や資源の大切さを考えさせるため、導入として年間廃棄衣料の量を提示し、その数字から自分ができることを考えさせる。 	<p>関・意・態 (観察)</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> 衣服のリサイクルについて学び合う。友だちの考えを知り、自分の考えを伝える。 廃棄衣料を減らすために自分に出来ることを考え、隣どうしで発表し合う。 着なくなったTシャツをどのように再利用するか、4人班で考えさせ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 考える時間を与え、自分の考えを30秒で隣の人に発表させる。 友だちの発表を聞いて、良いと思った人を推薦させ、全体の前で発表させる。(2, 3人) 「中古衣料」、「リフォーム」、「ウエス」、「繊維素材としての再利用」の4つがあることを理解させる。 4人班を指示し、自分たちならどのように再利用するか考えさせる。その際、環境や資源のことも考えさせる。 各班で考えた再利用の方法を発表させる。 	<p>関・意・態 (観察) (ワークシート)</p> <p>関・意・態 (観察)</p> <p>創造 (ワークシート)</p>
まとめ	<p>本時を振り返る</p> <p>自分の考えを友だちに説明することができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの振り返りの欄に、これからの衣生活についての自分の考えを発表することができたか振り返らせる。 	<p>関・意・態 (ワークシート)</p>

5 本時の評価

(1) 自分の考えを隣の人に伝えることができたか。

(2) 4人班での話し合いでは、各自が自分の考えを言うことができたか。

第1学年国語科公開授業指導案

対象 1年4組 35名
 授業者 冨田 洋子
 場所 1階1年4組教室

- 1 単元名 「矛盾－故事成語－」
- 2 本時のねらい
身近な故事成語を学び合う。
- 3 本時の重点
調べた故事成語を、わかりやすく班員やクラス全体に説明する。
- 4 本時の展開（略案）

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時のねらい 身近な故事成語を学び合う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「矛盾」の訓読文を音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを板書する。 ・一斉読みをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読に慣れたか。 (観察)
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 故事成語について学び合う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「矛盾」以外の故事成語 ・訓読を発表する。 ・調べた故事成語を班員に説明する。 ・班内で相互評価し、代表を決める。 ・代表者がクラス全体に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで読み合う。 ・読めた人をペアが推薦する。 ・班長の司会で順番に発表する。 ・評価表配布 ・教員司会で行う。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 知・理・技 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに教え合っているか。 (観察) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 話す・聞く </div> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの指示に従って発表できたか。 (観察) ・お互いの良い点を評価できたか。 (評価表) ・友だちの発表をしっかりと聞いたか。 (評価表)
まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時をふり返る ・身近な故事成語について学び合うことができたか。 ・授業の感想を書く。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを基にふり返る。 ・評価表の回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な故事成語を説明し、学び合うことができたか。 (評価表)

- 5 本時の評価
身近な故事成語について学び合うことができたか。

第 2 学年国語科公開授業指導案

対 象 2年2組 32名
 授業者 村尾 明 美
 場 所 3階2年2組教室

1 単元名 「情報を的確に伝えよう」

2 本時のねらい

新聞記事から自分の得た情報を、自分の言葉で友だちに的確に伝える。

3 本時の重点

(1) 記事の内容を理解し、理解したことを的確に伝えられるよう考える。

(2) ペアをつかって互いに記事の内容を説明し、伝え方について助言し合う。

(3) ペアワークでの助言を生かして発表の仕方を工夫し、4人グループで発表する。

4 本時の展開 (略案)

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導 入	<p style="text-align: center;">本時のねらい</p> <p>新聞記事を読み、書かれている情報を自分の言葉で的確に友だちに伝えることができる。</p>	<p>本時のねらいを明示する。 新聞記事を人数分準備する。</p>	
展 開	<p>・情報の伝え方について学び合う</p> <p>○記事を読み、どのような情報を友だちに伝えるか各自で考える。</p> <p>○発表原稿を作成する。</p> <p>○ペアワークで互いに情報を伝え合い、伝え方について助言し合う。</p> <p>○助言を生かして、発表の仕方を工夫し、4人のグループで発表し合う。</p>	<p>・ワークシートを用意し、伝え方を考えるためのヒントとなるようにする。</p> <p>・ペア、グループの組み方は授業者が指示する。</p> <p>・授業者は、記事の内容理解を助けるよう補足説明したり、適切な言葉を選べるよう助言したりして支援する。</p>	<p>・記事の内容を理解しているか。</p> <p style="text-align: right;">読む</p> <p>(ワークシート)</p> <p>・事実を正しくとらえ、表現を工夫して伝えているか(観察)</p> <p>・相手の発表を聞き、必要な情報を受け止めているか</p> <p style="text-align: right;">話す・聞く</p> <p>(観察)。</p>
ま と め	<p style="text-align: center;">本時をふり返る</p> <p>記事の内容を的確に友だちに伝えることができたか。</p>	<p>本時のねらいを基に、1時間の学習活動をふり返らせる。</p>	<p>・適切な言葉と表現を用いて、的確に伝えられたか。</p> <p>(ワークシート)</p>

5 本時の評価

(1) 記事の内容を正しく理解し、情報をどう伝えるべきか考え、的確な言葉を使うことができたか。

(2) ペアで情報を伝え合い、互いに助言し合うことができたか。

(3) 助言を生かして伝え方の工夫をし、情報をよりの確に伝えることができたか。

第 2 学年英語科公開授業指導案

対 象 2年3組 32名
 授業者 青山 知世子
 Stephen Harris
 場 所 3階2年3組教室

- 1 単元名 「Do It Talk 5」
- 2 本時のねらい
 病気などについて聞かれたとき、正しく答えることができる。
- 3 本時の重点
 (1) 2人ペアで積極的に会話の練習ができる。
 (2) 4人グループで自分の考えを伝えることができる。
- 4 本時の展開

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・日付・曜日・天気 ・簡単な会話 ・ALTとJETで本時の会話の紹介 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のねらい 病気などについて聞かれたときの返事を正しく理解する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気を作る。 ・集中させる。 <p>本時のねらいを明示する。</p>	<p>集中して意欲的に取り組んでいるか。</p> <p style="text-align: right;">関・意・態 (観察)</p>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで基本文の会話の練習をする。 ・発表 ・4人グループでプラス一文の作成 ・発表 (ALTにより評価する) <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の意味の確認と発音の練習 ・本文の意味の確認 ・教師の後に続いて音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なペアへの援助をする。 ・困っているグループへのアドバイスをする。 ・4人組で協力して一文を作成させる。 ・発表しやすい雰囲気をつくる。 ・リズムカルに発音させる。 ・重要な表現を理解させる。 	<p>正しく発音しているか。 表現 (観察)</p> <p>プラス1の文を作成できているか ALTがチェックする。 (プリント)</p> <p>正確に理解しているか。 理解 (観察)</p>
ま と め	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時をふり返る 簡単な練習問題をして、病気などについて聞かれたときの返事を正しく表現することができたか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・落ちついた雰囲気でも振り返らせる。 ・本時のねらいを基にふり返る。 	<p>集中して取り組んでいるか (観察・プリント)</p>

- 5 本時の評価
 (1) 2人や4人グループで積極的に会話練習ができたか。
 (2) 4人グループで、自分の考えを伝えることができたか。

第2学年数学科公開授業指導案

対 象 2年4組32名
 授業者 柴 田 翔
 場 所 3階2年4組教室

1 単元名 「証明の根拠となることがら」

2 本時のねらい

証明の根拠となることがらが「仮定」と「それまでに正しいと認められたことがら」であることを理解し、根拠を明確にして証明し、その説明をすることができる。

3 本時の重点

- (1) ペアで説明し合い、その中で互いの証明に用いた根拠を明確にする。
- (2) 証明をふり返り発展的に考える活動を取り入れる。

4 本時の展開（略案）

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導 入	<p style="text-align: center;">本時のねらい</p> <p style="text-align: center;">証明の根拠となることがらを理解し、根拠を明確にして証明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の「仮定・結論」の復習から始め、その間をつなぐことが証明であることを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時をふり返り、自分の言葉で説明しようとしたか。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">関心・意欲・態度</p> <p style="text-align: right;">(観察)</p>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題を提示し、それについて証明を行う(自力解決)。 ・証明を全体で確認する。 <p style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px;"> 明らかになった証明をペアで説明し合い、「そう言える理由(根拠)」を質問していくことで、根拠を明確に捉える。 証明の根拠として用いてよいものを発表する。 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・証明によって明らかになったことを基に発展的に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく、黒板やノートを見ず根拠を明確にできるよう指導する。 ・証明から分かる事実に目を向けることで証明のよさについても実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明にして証明することができたか。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">見方・考え方</p> <p style="text-align: right;">(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証明を基にして発展的に考えることができたか <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">見方・考え方</p> <p style="text-align: right;">(観察)</p>
ま と め	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">本時をふり返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証明の根拠となることがらについて理解できたか。 ・根拠を明確にして証明することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠として用いてよいことの一覧を配布する。 	

5 本時の評価

- (1) ペアによる説明し合い、その中で互いに用いた根拠を明確にすることができたか。
- (2) 証明をふり返り、発展的に考えることができたか。

第3学年理科公開授業指導案

対 象 3年1組34名

授業者 岩 間 敦

場 所 2階 理科室A

1 単元名 「金星の見え方（地球から見た金星の大きさと形）」

2 本時のねらい

(1) 地球から見た金星の大きさと輝いている部分の形を、2人ペアになって調べ、その結果を班やクラスで共有する。

(2) 観察していない部分の金星の大きさや形を予想し、友だちに説明する。

3 本時の重点

(1) 観察を2人ペアで行い、金星の大きさや形を相互に確認する。

(2) ペアで観察した結果を班に示し、観察していない部分の金星の大きさや形を予想し、友だちに説明する。

4 本時の展開（略案）

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導 入	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">本時のねらい</div> (1)地球から見た金星の大きさと輝いている部分の形を、2人ペアになって調べ、その結果を班やクラスで共有する。 (2)また、観察していない部分の金星の大きさや形を予想し、友だちに説明する。	・本時のねらいは、あらかじめカードに記入しておき、黒板に貼る（板書はしない）。	
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・観察器具の使い方を理解する。 ・地球から見た金星の大きさと形を観察器具を使って調べる。その際に、2人でペアになって確認する。 ・上記の観察を4つの地点で調べ、その結果を記入用紙に貼る。 ・以上の結果をもとにして、観察していない地点の金星の大きさと形を2人で予想し、班やクラスの友達に説明する。 ・予想と同じかどうかを班で観察する。 ・観察器具の片づけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ作っておいた金星の紙片を調べるところに置いて、同じかどうかを2人で比べる。 ・上記の結果から次の予想を行い、さらに観察で予想と比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に観察に参加しているか。 ・2人で観察できたか。 関・意・態 (観察) ・観察の結果から予想ができたか。 ・予想と結果が同じかどうかを確認する。 科学的な思考 (ワークシート)
ま と め	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">本時をふり返る</div> <ul style="list-style-type: none"> ・2人で調べることができたか。 ・予想をして観察で確認できたか。また、その内容を友だちに説明できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントで本時のねらいをふり返る。 	

5 本時の評価

(1) 生徒が積極的に観察に参加していたか。

(2) 2人ペアで観察し、その結果を示し、予想した内容を友だちに説明することができたか。

第3学年数学科公開授業指導案

対 象 3年2組 34名
 授業者 高 取 昌 美
 場 所 2階3年2組教室

1 単元名 「5章 相似な図形 第1節 相似な図形」

2 本時のねらい

- (1) 相似な図形の中から対応している辺を見付け、比の性質を利用して長さを求めることができる。
 (2) 相似比を基に三角形の面積比について考え、友だちに伝えることができる。

3 本時の重点

- (1) 一斉指導の中に学び合い学習を入れ、考えたことを言葉で伝える場面をつくる。
 (2) 発展的な内容も友達と意見を交換しながら問題に取り組む。

4 本時の展開 (略案)

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導 入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時のねらい 相似比から辺の長さを求めることができる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムと同時にあいさつができるようにする。 ・本時のねらいを明示する。 	チャイム着席、忘れ物の点検。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">関・意・態</div>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・比例式、比の値を確認する。 ・ノートに比例式の計算を練習する。 ・相似な図形で対応する辺を見付け、比例式を利用してノートに長さを求める。 ・生徒を指名しながら、解答を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・発展面積の比について考える。 相似比が1:2の三角形は面積比がいくつになるのか考え、班の友だちと意見を交換する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で面積比について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れがちな、成り立つ理由もクラス全体で確認していく。 ・相似な図形を見つけ、どの辺が対応しているのか考えさせる。 ・相似比と面積比とを比較して、さらに考えを深める。 	対応している辺を見付け、その長さを求めようとしているか。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">数学的な見方・考え方</div> (ノート観察) 積極的に友だちと意見を交換しているか。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">関・意・態</div> (観察)
ま と め	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時をふり返る 相似比から辺の長さを求められたか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板の例題を解き、隣の友だちを解答を確認する。 	

5 本時の評価

- (1) 相似な図形の中から対応している辺を見付け、比例式を利用して辺の長さを求めることができたか。
 (2) 積極的に友だちと意見を交換し、自分の考えを伝えることができたか。

第3学年美術科公開授業指導略案

対 象 3年3組 34名
 授業者 田 中 進
 場 所 3階 A美術室

1 単元名 (デザイン・工芸) 「透視図法を使った平面構成」

2 本時のねらい

- (1) 配色の効果を考え、自分なりに絵の具で表し、その表現したかったことやそのために工夫したことを友だちに説明する。
- (2) 友だちの作品の説明を自分の作品の表現に照らし合わせて、表現したかったことや工夫したことを確認する。

3 本時の重点

作品の完成まで間近に迫ったこの授業で、表現方法を話し合いを通じて確認させて評価し、さらに作品の完成に意欲的に取り組ませたい。

○座席のとなり及び前あるいは後の生徒同士、3人や4人で短く2分で話し合う。

- (1) 「平塗りについて」しっかりできているか確認し合う。
- (2) 「配色について」自分のねらいをしっかり述べさせる。
- (3) 「塗る面のルールについて」確認し合う。

4 本時の展開 (略案)

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のねらい 配色について友だちの考えを知り、自分の考えを伝えることができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・配色について生徒相互の考えを伝え合わせる。 ・平塗りについての技法を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技法通りに制作できているか。 技能 <p style="text-align: right;">[観察]</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>配色について学び合う 友だちの考えを知り、自分の考えを伝える。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・配色に関する技術を指導する。 ・配色のルールを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをしっかりと相手に伝えることができたか。 発想 <p style="text-align: right;">[観察]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解して表現できたか。 鑑賞 <p style="text-align: right;">[観察]</p>
まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時をふり返る 配色について友だちの考えを知り、自分の考えを伝えることができたか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げに向けての技法指導と個別指導を行う。 ・友だちにしっかりと説明することができたか。 ・後片付けの指示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げに向けての課題を確認できたか。 ・後片付けがしっかりとできたか。

5 本時の評価

- (1) 「平塗りについて」しっかりできているか確認し合うことができたか。
- (2) 「配色について」自分のねらいをしっかりと相手に伝えることができたか。
- (3) 「塗る面のルールについて」確認し合うことができたか。

第3学年国語科公開授業指導案

対 象 3年4組 34名
 授業者 橋 本 玲
 場 所 2階3年4組教室

1 単元名 「おくのほそ道」

2 本時のねらい

古文のリズムや歴史的仮名遣いに注意して音読し、冒頭部分を暗唱して、友だちに聞いてもらう。

3 本時の重点

- (1) 2～3人グループになり、お互いに音読し合ったりして、暗唱できるように協力する。
- (2) 暗唱できたかどうか、グループで発表し合う。

4 本時の展開 (略案)

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導 入	本時のねらい 「おくのほそ道」の冒頭部分を暗唱し、友だちに聞いてもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを明示する。 ・2～3人でグループをつくらせる。 	
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・音読し、暗唱できるように学び合う。 ・読み方のわからないところを教え合い、暗唱できているかどうか聞いてもらう。 ・範読を聞き、読み方を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2～3人のグループなり、お互いにすらすら音読し、暗唱できるように協力する。 ・暗唱できたかどうか、グループで発表会を行う。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。 ・対句表現に注意させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典のリズムや歴史的仮名遣いを意識して、音読できているか <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">読む</div> (ワークシート1) (観察)
ま と め	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 本時をふり返る 友だちの前で暗唱することができたか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭部分を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを基に1時間の学習活動をふり返らせる。 ・覚えられなかった場合は、教科書を見て確認させる。 	(ワークシート2)

5 本時の評価

- (1) 古典のリズムや歴史的仮名遣いを意識して音読することができたか。
- (2) 冒頭部分が暗唱できたか。

第3学年保健体育科公開授業指導案

対 象 3年5組34名
授業者 野崎 朋之
場 所 2階 体育館

1 単元名 「球技」(バレーボール)

2 本時のねらい
ルールを理解し、チーム内で協力し合いながらゲームを行う。

3 本時の重点

- (1) チームで課題を相談し合い、ゲームに生かす。
- (2) チームで声を掛け合い、ゲームを楽しく行う。

4 本時の展開 (略案)

過程	学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導 入	1 集合・整列・ラジオ体操 2 挨拶・出欠確認・身なりの確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 3 本時のねらい ルールを理解し、チーム内で協力し合いながらゲームを行う。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒全員が集合次第、体育係の指示で、ランニングまで行う。 ・健康状態・身なりの確認を行う。 ・本時のねらいを明示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私語がなく自分の健康状態や練習場の安全に留意し取り組もうとしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">関・意・態</div> (観察)
展 開	4 個人でオーバー・アンダーハンドパスを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 5 チームで課題を相談し練習する。 6 チームで練習したことを声を出し合い、協力し合いながらゲームに生かす。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術についてのアドバイスをする。 ・チームで話し合い、チームに足りない技術の練習を自分たちで決定し、練習をする。 ・チーム練習で行ったことを積極的にできるようにアドバイスをする。 ・チームで協力し、声を出すように指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えていることが上手にプレーできる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">技能</div> (観察) <ul style="list-style-type: none"> ・チーム内でアドバイスをしながら練習に取り組んでいる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">関・意・態</div> (観察) <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのルールを理解できている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">知識・理解</div> (観察)
ま と め	7 片付け <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 8 本時をふり返る ルールを理解し、チーム内で協力し合いながらゲームを行うことができたか。 </div> 9 整列・整理体操・挨拶・解散	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で協力をして片付けるように、指示する。 	

5 本時の評価

- (1) チーム内で、声を掛け合いながら楽しくゲームができたか。
- (2) チーム内で、課題を相談したことをゲームに生かすことができたか。

西台3(スリー)とは

- つながりに学ぶ学校
- 鍛える学校
- 心動かす学校

目指す学校像のこと

西台7(セブン)とは

1 チャイム授業の実践

2 授業の始めと終わりの
あいさつの徹底

3 本時のわらいの明示

4 本時のふり返りの実施

研究主題

「落ち着いた環境の中で、
自己実現を図る指導と授業の工夫」 全教科・領域

仮説：生徒相互に関わる活動を通して互いに学び合うとともに、自主性を育て自治を養ったり、また、授業規律の確立と授業改善により学力の定着を図ったりすることで、生徒の自己実現への意欲も高まり、授業や行事など全ての学校生活に前向きに取り組める生徒になる。

5 三人組での授業研究

6 生徒相互の関わり

7 自主性の育成

共通実践するポイントのこと